

目的および方法

目的および方法は前報同様である。本報では、「七草粥・粥の汁」がどの程度作られているか、また用いる材料等について調査し、津軽地方と南部地方の地域差および主婦の年代別により検討した。さらに、年越し、正月にまつわる習慣、禁忌食品等についても調べた。

結果

1. 七草粥の行事を行っている家庭は少く、一割程度である。
2. 粥の汁は津軽地方に多くみられ、南部地方は少ない。また市と郡部との比較では郡部の方が多く行っている。材料は大根、人参、大豆、ふま、凍豆腐、わらび、ごぼう、油揚げなどで味噌仕立である。
3. 禁忌食品として、鳥肉ものぞく肉類、カレー、さめ等があげられた。
4. 三献の行事は知ってはいるが、現在はあまり行っていないが、地域により差がみられた。
5. 大正月、小正月に関連する諸行事の「若木汲み、蔵開き、祝い松、カバカバ、ウスグセ、オドギ拝み」などは、現在あまり行なわれていない。